

高知県立大学

総合情報センター一年報

令和5年度



ごあいさつ

高知県立大学総合情報センターの発足は2002年4月となっています。しかし、『本学創基70周年記念誌』(2017年3月発行)の頁をめくると、本学附属図書館が1966年3月31日に新築、その後1988年6月28日増改築となったことが記されています(現在の池図書館および永国寺図書館はそれぞれ2011年1月、2017年3月に供用開始)。情報処理については1987年11月に施設が設置され、1988年に高知女子大学情報処理センターが発足しています。高知女子大学情報処理センターは高知女子大学・高知短期大学附属図書館と統合し、2002年に高知女子大学・高知短期大学総合情報センターとなり、2011年に高知県立大学・高知短期大学総合情報センター、2020年に高知県立大学総合情報センターとなりました。英語名 The Integrated Information Center にあるように、「総合」は「統合された、融和した」の意味でした。以来、本学の情報基盤の整備と管理ならびに本学が所蔵する図書館資料の管理および学内外の利用者に対する貸出やレファレンスサービス等を行ってきました。初代センター長の山田覚先生(看護学部教授(当時))は、発足時期から当センターの発展のために力を尽くされました。第二代センター長の一色健司先生(地域教育研究センター教授(当時))は図書館資料の円滑な業務運営の基盤となる規程類の改定に取り組みました。私は第三代目センター長の任を令和4年度から拝命することとなりました。当センターはセンター運営委員会の下に情報処理施設委員会と図書館委員会を設置する構成をとってきていますが、以来「総合情報センター」の「総合」の意味を自問する日々が続いています。

当センターの発足には、図書館学と情報学を融合する図書館情報学の考え方が背景としてあり、目指すべき方向性として情報処理センターと附属図書館の機能融合があったのでしょうか。その後、大学経営の法人化や法人統合などが進められていったことに伴い、それまで大学単独で管理していたインターネット回線への接続や学内のキャンパス間情報ネットワークの利用環境、サーバ等を含む端末機器の管理などは、法人及び高知工科大学との協働で行われる方式へと変化しました。また、図書館の業務においても、紙媒体の図書館資料の受入や貸出に加え、電子媒体での学術雑誌・書籍等の受入、購読環境の充実のニーズも大きくなってきています。

この度、本学は「高知県立大学10年戦略—UoK Vision 2033—」(令和5年度策定)の施行にあわせて学内組織と管理体制の見直しが行われました。そのひとつに当センターの再編成が含まれ、情報施設の管理と図書館資料の管理を別組織として配置することとなりました。ひとつは「高知県立大学総合情報研究センター」、もうひとつは「高知県立大学附属図書館」です。30年前の姿に戻ったのではないかとイメージする方もいるかもしれませんが、そうではありません。総合情報研

究センターは「研究」の文言を携えることとなりました。また、「総合」の意味も変わったように思います。cross-disciplinary と言えるかもしれません。図書館のほうはセンター付けの施設ではなく大学の附属図書館への昇格を得ました。

センター長として就任してからのこれまでの2年間、最大の支援をいただいたのは本学事務局図書情報課のスタッフの皆様方です。事の大小にかかわらず課題点や検討事項について情報共有をしていただきました。また、情報施設のことについても図書の管理についても数多くのことを教えていただきながら進めることができました。また、各年度に委員として出席していただいた各学部・センター・研究科選出の委員の方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

以上で、高知県立大学総合情報センター最後の年報に向けてのあいさつといたします。

高知県立大学 総合情報センター

センター長 五百藏 高浩

目次

ごあいさつ.....	- 1 -
1. 組織	- 1 -
(1) 総合情報センターのめざすもの	- 1 -
(2) 組織	- 1 -
(3) 委員会	- 1 -
(4) 職員	- 2 -
2. 図書館.....	- 4 -
(1) 開館時間.....	- 4 -
(2) 図書等受入状況.....	- 5 -
(3) 図書館利用状況.....	- 7 -
(4) 電子ジャーナル・データベース	- 8 -
(5) その他設備等	- 10 -
3. 情報処理施設・設備	- 11 -
(1) サーバ、ネットワークシステムの概要	- 11 -

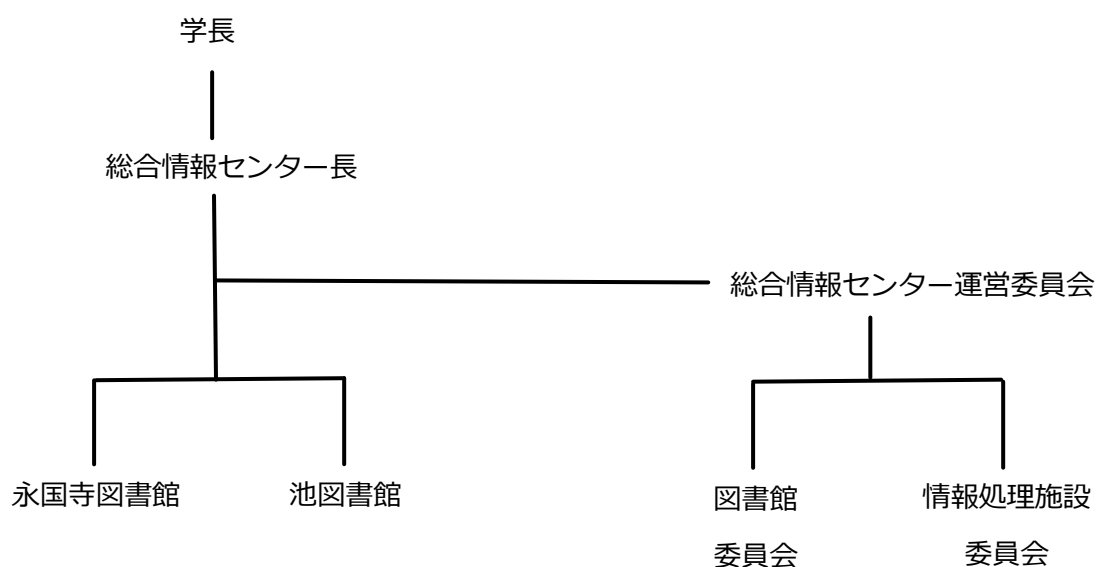
(2) 登録 I D 総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳	- 11 -
(3) 情報演習室	- 11 -
4. 令和 5 年度の活動・評価	- 12 -
(1) 課題・取組計画	- 12 -
(2) 活動	- 12 -
(3) 学術情報リポジトリ	- 14 -
(4) 研修・会議参加	- 14 -
(5) その他	- 16 -
(6) 自己点検・評価	- 19 -
(7) 令和 6 年度に向けた課題点	- 19 -
5. 関係規程・内規等	- 23 -

1. 組織

(1) 総合情報センターのめざすもの

高知県立大学学則第 60 条に定める図書館及び情報処理施設の管理及び運営を行い、教職員及び学生の教育、研究の支援を行うとともに、地域社会における図書館活動の促進及び地域社会の情報システムとの連携等に取り組み、地域の発展に寄与することを目的とする。(高知県立大学総合情報センター規程第 2 条)

(2) 組織



(3) 委員会

ア 図書館委員会

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。(図書館委員会細則第 2 条: 審議事項)

- (1) 図書館の整備計画及び維持管理に関すること。

- (2) 図書館の図書館資料の収集、利用、管理及び調査等に関する事。
- (3) 学術情報の電子化及び情報発信等に関する事。
- (4) 図書館の利用者教育に関する事。
- (5) 図書館所蔵の特別資料の指定に関する事。
- (6) 他の図書館等との連携に関する事。
- (7) その他図書館の運営に関し必要な事項

イ 情報処理施設委員会

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。(情報処理施設委員会細則 第2条: 審議事項)

- (1) 情報処理施設及び設備(以下「情報処理施設等」という。)の整備計画及び維持管理に関する事。
- (2) 情報処理施設等の利用及び運用等に関する事。
- (3) 情報処理施設等の利用者教育に関する事。
- (4) 他の情報システムとの連携に関する事。
- (5) その他情報処理施設等の運営に関し必要な事項

(4) 職員

		(単位:名)
教員(うち専任)		3 (2)
一般職員		
永国寺図書館	正職員	3
	派遣職員	2
	派遣職員	1
	(高知工科大学派遣)	

池図書館	正職員	3
	派遣職員	2

(令和5年4月1日現在)

2. 図書館

永国寺図書館は、一般教養分野、文化学関係の図書が主となっており、短期大学が併設されていた関係で、社会科学関係の図書も収集されている。池図書館は、医療・看護関係、社会福祉関係、健康栄養学関係の図書が主となっている。

永国寺図書館は、高知県立大学、高知工科大学の共用施設となる。

年2回、各教員から授業等に関連した図書をリストアップする推薦図書制度が設けられている。新任教員に対しては、自分が専門とする図書が不十分な場合があることから、上述の推薦図書とは別に、着任の年初に推薦図書をリストアップして、学生の教育・研究環境を整えている。

(1) 開館時間

永国寺キャンパスには、文化学部の夜間主があり、永国寺図書館は平日夜 21 時まで開館している。

池図書館は平日夜 19 時まで開館している。

<開館時間>

	永国寺図書館	池図書館
月～金	8:30～21:00	8:30～19:00
土	9:00～17:00(※)	9:00～17:00(※)

(※) 春季・夏季休業中を除く

(2) 図書等受入状況

所蔵図書等は、令和6年3月31日現在、図書255,364冊、雑誌2,353タイトルである。

〈図書・雑誌の蔵書数〉

(単位:冊、タイトル)

項目	永国寺図書館	池図書館	合計
図書(冊)	153,589	101,775	255,364
雑誌(タイトル)	1,175	1,178	2,353

(令和6年3月31日現在)

〈図書〉

(単位:冊)

			永国寺	池	合計
図書	和漢書	受入	777	1,215	1,992
		除籍	-19	-763	-782
		所蔵 (R6年3/31現在)	133,215	88,007	221,222
	洋書	受入	5	121	126
		除籍	-1	-3	-4
		所蔵 (R6年3/31現在)	20,374	13,768	34,142
	合計	受入	782	1,336	2,118
		除籍	-20	-766	-786
		所蔵 (R6年3/31現在)	153,589	101,775	255,364

※ 除籍の内容については13ページを参照

<雑誌>

(単位:タイトル)

			永国寺	池	合 計
雑誌	和雑誌	受入	88	143	231
		受入開始	0	0	0
		受入中止	0	8	8
		除籍	0	0	0
		所蔵 (R6年3/31現在)	940	975	1,915
	洋雑誌	受入	8	44	52
		受入開始	0	0	0
		受入中止	0	2	2
		除籍	0	0	0
		所蔵 (R6年3/31現在)	235	203	438
	合計	受入	96	187	283
		受入開始	0	0	0
		受入中止	0	10	10
		除籍	0	0	0
		所蔵 (R6年3/31現在)	1,175	1,178	2,353

<視聴覚資料> (令和6年3月31日現在の所蔵件数)

永国寺図書館: 2,099件

池図書館: 1,580件

(3) 図書館利用状況

〈文献複写〉

(単位:件)

	依頼			受付
	公費	私費	計	
永国寺	131	69	200	62
池	284	55	339	295
合計	415	124	539	357

(令和6年3月31日現在)

〈相互貸借〉

(単位:件)

	依頼			受付
	公費	私費	計	
永国寺	23	6	29	62
池	38	19	57	61
合計	61	25	86	123

(令和6年3月31日現在)

〈図書館利用状況〉

(単位:人、冊)

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館 者数 (人)	永国寺	39,374	45,539	48,771
	池	40,727	38,463	42,223
	合計	80,101	84,002	90,994
貸出 人数 (人)	永国寺	3,913	3,511	3,814
	池	3,705	3,594	3,301
	合計	7,618	7,105	7,115
貸出 冊数 (冊)	永国寺	6,334	5,594	6,121
	池	9,029	8,792	7,979
	合計	15,363	14,386	14,100

新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、令和5年9月より学外利用者の入館を再開している。令和5年度末の学外登録者数は、両図書館合わせて105名である。学外利用者の入館を再開したことにより、新規登録者数は回復傾向にある。

(4) 電子ジャーナル・データベース

データベース・電子ジャーナルは、ProQuest Research Library、EBSCOhost(CINAHL Complete、MEDLINE Complete、Food Science Source)、CiNii Research、CiNii Books、CiNii Dissertations、Westlaw Japan、ヨミダス歴史館、メディカルオンライン、医中誌 Web、リンクリゾルバーSFX、Cochrane Library、ジャパンナレッジ Lib、ScienceDirect を導入している。

ア ProQuest Research Library

人文、社会科学、心理学、芸術、ビジネス、教育、金融、福利厚生、法律、医学、政治、

宗教、科学技術といった幅広い分野の学術雑誌を収録したデータベースである。

この中には次のデータベースも含まれている。

*New York Times

New York Times に掲載されたニュース記事のデータベース。

*ProQuest Dissertations & Theses A&I

北米を中心に世界の修士・博士論文を収録するデータベース。

イ EBSCOhost

EBSCO 社が提供するデータベース。

(ア) CINAHL Complete

看護学、保健医療、消費者健康、生態臨床医学等のデータベース。

(イ) MEDLINE Complete

医学全般、薬学、看護学、歯科学、獣医学、保健医療学等のデータベース。

(ウ) Food Science Source

食品産業に関連する問題を取り扱った定期刊行物のデータベース。

ウ CiNii Research

日本の学術論文を中心にした論文情報が検索できるデータベース。

エ CiNii Books

全国の大学図書館が所蔵する資料(図書、雑誌など)の情報が検索できるデータベース。

オ CiNii Dissertations

日本の博士論文を中心にした論文情報が検索できるデータベース。

カ Westlaw Japan

ウエストロー・ジャパン社が提供する日本法の法律情報オンラインデータベース。判例、法令、行政関連資料、法律雑誌・紀要、法律百科事典、弁護士年鑑のほか、ニュース、企業情報、公的資料、特許情報をはじめとするビジネス法務に関わる各種周辺情報などが検索できる。

キ 読売新聞「ヨミダス歴史館」(2024年1月にリニューアルし、「ヨミダス」に名称変更)

読売新聞社が提供する新聞データベース。1986年9月からの読売新聞、1989年9月からの THE DAIRY YOMIURI(英字新聞)が収録された新聞データベース、「よみうり人物データベース」が利用できる。

ク メディカルオンライン

医学文献の検索・閲覧及び文献全文をダウンロード提供する医療総合 Web サイト。

ケ 医中誌 Web

医学中央雑誌刊行会が提供する医学系データベース。

コ リンクリゾルバー(SFX)

データベース等で検索した文献の入手方法・入手場所を適切にナビゲートするツール。

サ Cochrane Library

国際的な医療評価プロジェクトであるコクラン共同計画が発行するデータベース。

シ ジャパンナレッジ Lib

70以上の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイト。

ス ScienceDirect

エルゼビア社が提供する学術文献の最先進プラットフォーム。看護分野の4誌を契約している。

(5) その他設備等

〈永国寺図書館〉

- ・閲覧席 183 席
- ・学内者専用端末 5 台
- ・グループ学習室 5 室
- ・視聴覚席 2 席

〈池図書館〉

- ・閲覧席 117 席
- ・学内者専用端末 6 台
- ・医中誌 Web 専用端末 1 台
- ・グループ学習室 3 室
- ・個室ブース 1 機
- ・キャレル 1 室
- ・視聴覚席 3 席

3. 情報処理施設・設備

(1) サーバ、ネットワークシステムの概要

ア サーバ

重要サーバ群(教務システム、財務システム等の業務用サーバ)は、高知工科大学と共同利用しているデータセンターに構築している仮想基盤上に配置している。

情報演習室のシステムのサーバは永国寺キャンパスに配置している。

イ ネットワークシステム

両キャンパスともに有線・無線 LAN 環境が整備されている。令和3年8月に池・永国寺無線ネットワーク更改を行った。池キャンパスにおいてはアクセスポイントを倍増(50台→100台)し、接続環境が改善された。

(2) 登録 I D 総数及び教職員、学生、大学院生ごとの内訳

ア 教職員 218名(教員 121名、事務職員 97名)

学生 1,528名(学部 1,445名、大学院 83名)

イ 有線接続端末の総数

総数 約 690 台

永国寺キャンパス 約 320 台

池キャンパス 約 370 台

(3) 情報演習室

ア 池情報演習室 2室(利用者用端末 各 49台)

イ 池大学院生研究室 3室(利用者用端末 各 14台)

ウ 永国寺情報演習室 2室(利用者用端末 130台、48台)

※永国寺情報演習室は高知工科大学と共用している。

4. 令和5年度の活動・評価

(1) 課題・取組計画

- 図書館の狭隘化対策のため、除籍計画を定め、計画的除籍を実施する。また、前年度以前の除籍本の再活用(無償譲渡、売却)を実施する。
- 教務システム等、学内システム更改への支援を行う。
- 大学の構成員が情報セキュリティについて、関心を高め知識を深める機会(SD 研修)の充実。
- IPアドレスおよびAS番号管理について、不備により現在利用できなくなっている管理端末の再整備及び、管理者登録の変更を5月中に行う。

(2) 活動

ア 総合情報センター運営委員会、情報処理施設委員会、図書館委員会

総合情報センター業務を遂行するため、総合情報センター運営委員会を7回(オンラインでの開催を含む)開催した。

学内情報基盤に関する運営について審議するため、情報処理施設委員会を6回(オンラインでの開催を含む)、メール審議を1回開催した。

図書館に関する運営について審議する図書館委員会は定期的に6回(オンラインでの開催を含む)、メール審議を3回開催した。

イ 図書館委員会

(ア) 推薦図書事業

前期/後期にそれぞれ1回、計2回通常の推薦図書を実施した。また、新任教員が学生に利用させる図書等を配慮して開始された新任教員推薦図書を実施した。

(イ) 蔵書点検と蔵書整理

休館をして、8月に永国寺図書館の蔵書点検を行い、3月には両図書館で蔵書整理を行った。

(ウ) 高知県立大学・高知工科大学図書館運営連絡会

共用施設である永国寺図書館の運営に関し、情報の共有と連絡調整をする場として、高知工科大学との図書館運営連絡会を5回、メール会議を2回開催した。

(エ) 電子書籍の導入

高知県立大学後援会より図書購入のための寄附金があり、計30冊の電子書籍を導入した。

(オ) 計画的除籍へ着手

高知県立大学総合情報センター理念と目標及び蔵書構築方針および関係する規程等に従い、計画的除籍に着手した。4年目となる令和5年度は、池図書館の1,3類を対象とした。

ウ 情報処理施設委員会

(ア) 情報処理システムの管理・運用

利用者登録(ID登録、機器登録等)、トラブル対応、修繕等、実施した。

(イ) スタッフディベロップメント

- ・令和5年度公立大学協会情報部会へ参加
- ・令和5年度高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会への参加
- ・教職員を対象としたセキュリティ研修の実施
- ・教職員を対象としたフィッシングメール訓練

(ウ) 教務システム更改支援

教務システム更改への技術的支援を行った。

(エ) IPアドレスおよびAS番号管理について、不備により現在利用できなくなっている管理端末の再整備及び、管理者登録の変更を行った。

(オ) 法人情報システム運営連絡会

法人及び高知工科大学との法人情報システム運営連絡会を6月、11月、2月に実施した。

(カ) 情報セキュリティ調査、診断の実施。

(3) 学術情報リポジトリ

令和6年3月31日現在、登録件数は以下の通りである。

コンテンツ	登録件数
博士論文	69
紀要	1,809
高知女子大学看護学会誌	834
高知女子大学看護学会集録	263
高知女子大学文化論叢	70
高知県立大学文化論叢	92
総合情報センター年報	10
地域教育研究センター報告書	2
研究成果	2
戦略的研究推進プロジェクト成果物	15
合計	3,166

(4) 研修・会議参加

開催日	研修名	場所	出席者
2023年5月12日(金曜日)	令和5年度図書館サービス研修(初任者編) 第1回[総合編]	オーテピア高知図書館	職員2名
2023年5月31日(水曜日)	NII学術情報基盤オープンフォーラム2023「公開基盤のこれからを考える」	オンライン開催	職員2名

開催日	研修名	場所	出席者
2023年5月31日(水曜日)	NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2023「大学や研究機関でのセキュリティ対策」	オンライン開催	職員1名
2023年6月19日(月曜日)	令和5年度ブロック別研修会(前期) デジタル環境下で広がる図書館の情報資源	香美市立図書館かみーる	職員2名
2023年7月19日(水曜日)	デジタル化推進セミナー「ChatGPTを使った業務効率化入門」	オンライン開催	職員1名
2023年9月8日(金曜日)	令和5年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会	福山市立大学	職員1名
2023年10月13日(金曜日)	第64回中国四国地区大学図書館研究集会	オンライン開催	職員1名
2023年10月16日(月曜日)	第51回高知県図書館大会	オーテピア高知図書館、オンライン開催	職員2名
2023年10月16日(月曜日)～11月15日(水曜日)	第25回図書館総合展京セラ主催フォーラム「生成AI×図書館」	オンデマンド配信	職員1名
2023年10月25日(水曜日)	第25回図書館総合展 JPCOAR 主催フォーラム「JPCOAR meets JUSTICE: 大OA時代の中を漕ぎ進む大学図書館」	オンライン開催	職員1名
2023年10月27日(金曜日)	第25回図書館総合展日本事務器主催フォーラム「本を読まない大学生と教室で本を読む」	オンライン開催	職員1名
2023年11月1日(水曜日)	大学・高校実践ソリューションセミナー 2023「キャンパス・教室の運用管理のDX化」	オンデマンド配信	職員1名

開催日	研修名	場所	出席者
2023年11月1日(水曜日)	大学・高校実践ソリューションセミナー 2023「Microsoft 365 包括契約の徹底活用」	オンデマンド配信	職員2名
2023年11月14日(火曜日)	第25回図書館総合展大阪工業大学 図書館バーチャルツアー	オンライン開催	職員1名
2023年11月30日(木曜日)	LIMEDIO Seminar 2023	オンライン開催	職員1名
2023年12月15日(金曜日)	学術情報流通に関する連続セミナー 第1回「学術論文の著作権とクリエイティブ・コモンズの関係」	ハイブリッド(対面+Zoom 配信)	職員1名
2023年12月22日(金曜日)	令和5年度図書館サービス研修(専門研修)	オーテピア高知図書館	職員4名
2024年1月22日(月曜日)	2023年度大学図書館シンポジウム 「著作権法と大学図書館 ～令和3年の著作権法改正を中心に～」	オンライン開催	職員3名
2024年1月26日(金曜日)	令和5年度国立大学図書館協会セミナー「オープンサイエンス時代における<場>としての大学図書館: 事例から見るライブラリー・スキーマ」	オンライン開催	職員1名
2024年2月19日(月曜日)	第20回県内図書館関係者の集い	高知大学朝倉キャンパス	職員2名
2024年2月26日(月曜日)	令和5年度ブロック別研修会(後期) パスファインダーとブックリストの作り方・活用の方法	オーテピア高知図書館4階研修室	職員2名

(5) その他

- 企画展示の充実

令和5年度は、永国寺図書館で7回、池図書館で7回開催した。

<永国寺図書館>

期 間	タイトル
2023年7月6日(木曜日)～2023年10月31日(火曜日)	「先生が学生時代に読んでいた本 第2弾」
2023年7月6日(木曜日)～2023年10月31日(火曜日)	図書館サークル Libe 企画展示「一行選書」
2023年11月2日(木曜日)～2023年12月28日(木曜日)	「図書館発！高知家のがん・認知症と向きあう月間 2023」
2023年11月2日(木曜日)～2023年12月28日(木曜日)	「牧野を生んだ土佐の自然連携展」
2023年12月7日(木曜日)～2024年3月5日(火曜日)	図書館サークル Libe 企画展示「思わず表紙だけで借りてしまいそうな素敵ジャケット特集」
2024年1月4日(木曜日)～2024年4月30日(火曜日)	「高知県立大学 後援会ブックハンティング図書」
2024年3月7日(木曜日)～2024年7月2日(火曜日)	図書館サークル Libe 企画展示「有名作家の知られざる本特集」

<池図書館>

期 間	タイトル
2023年5月8日(月曜日)～2023年7月4日(火曜日)	「厳選！おもしろ図鑑」
2023年7月6日(木曜日)～2023年10月31日(火曜日)	「先生が学生時代に読んでいた本 第2弾」
2023年5月8日(月曜日)～2023年10月31日(火曜日)	図書館サークル Libe「大学生が主人公の小説特集」
2023年11月2日(木曜日)～2023年12月28日(木曜日)	「図書館発！高知家のがん・認知症と向きあう月間 2023」
2023年11月2日(木曜日)～2023年12月28日(木曜日)	「牧野を生んだ土佐の自然連携展」

期 間	タイトル
2024年1月4日(木曜日)～2024年4月30日(火曜日)	「ドラマ・映画になった本」
2024年1月4日(木曜日)～2024年4月30日(火曜日)	「高知県立大学 後援会ブックハンティング図書」

- 学生協働の実績

学生が主体の企画展示を、永国寺図書館で3回、池図書館で1回行った。

- 県内各図書館との相互貸借の協力

県内公共図書館への貸出が永国寺図書館 25 件、池図書館 28 件あった。

一昨年度、昨年度より件数は減少した。

- 古本募金の実績

以下のご支援をいただいた。

令和5年度 1,032 冊 65,368 円

(6) 自己点検・評価

図書部門・情報部門のいずれも、センターの目的に沿った計画を策定し、活動を行った。

図書部門では、蔵書構築方針を踏まえた計画的な蔵書管理を継続し、類別ごとの除籍対象資料を検討、決定するとともに、過年度の除籍本の有効活用として一般の方へのリユースセールを初めて実施、470名程度の入館があり、地域貢献にも寄与できた。

購入する図書については、教職員からの推薦だけでなく、学生が主体的に意見を反映させることができるブックハンティングも採り入れることで、利用率を高める試みを行った。また、学内関係者の著作物や本学に関係する資料を、両図書館で寄贈資料として受け入れた。

ICT活用を通じた学生の自己学習の環境充実を図るため、電子ジャーナルは、令和4年度末に認証システムへの対応を行った結果、令和5年度は学外利用が可能となり、利用者の利便性が向上、電子ブックについても、後援会寄附金で拡充を実施した。池図書館に設置した個室ブースは、図書館入口に掲示を行って存在をPRしていっそうの利用促進をはかり、後期は利用を増やしている。

他機関との連携として、高知県立大学・高知工科大学図書館運営連絡会を、2回のメール会議を含む計7回開催し、また、14のオンライン開催を含む21の研修会に、図書館職員のべ32名が出席し、学外図書館の方たちと交流、情報交換をおこなった。とりわけ令和5年度は、医学情報サービス研究大会が高知で開催され、県大から実行委員2名、協力委員2名が参加し、県内の大学図書館や公共図書館、病院図書館の図書館員と連携を深めることができた。

情報部門に関しても全体的には大過なく業務を遂行したといえる。課題点としては、IPアドレスの管理、情報セキュリティ確保に向けた取り組みの強化などが挙げられる。令和5年度も、パスワードが破られてしまうインシデントが発生した。学生だけでなく教職員も毎年入れ替わりがあるので、ネットワークセキュリティについての研修の場を定期的に設けるとともに、参加者の増加を図る必要がある。

(7) 令和6年度に向けた課題点

大学を構成する委員会等の見直しが行われた。その見直しの中で、地域共生学研究機構が設置となり、当センターはその機構を構成するセンター群の1つとして位置づけられることとなった。これまで、学内の情報基盤の管理と図書館の蔵書管理・サービスを併せて担う総合情報センターとしての位置づけとなっていた。令和6年度からは、情報科学関連の研究を担う総合情報研究センタ

一として再編されることとなり、センターとしての研究力の向上が課題点である。加えて、情報ネットワークに接続された端末を使用した実験や試用を行うための研究環境を整備していくことも課題である。情報基盤の整備・管理と情報セキュリティ管理についての体制を一体化することが行われ、「情報基盤・セキュリティ本部」が発足することとなった。本部会議を定期的を開催していくことによって情報セキュリティについて本学の全体での意識の浸透と水準の向上に努める。

本年度、以上二機関は、日常の継続した業務とともに下に記す活動を実施していく。年度途中での状況確認に加え、年度末に点検・評価を行うことで次年度の課題を抽出し PDCA を回していく。

附属図書館の図書館資料の管理及び利用者に対する図書館業務については、附属図書館長を本部長とする図書館運営本部でそれらの内容を審議・決定・運用していくこととなった。図書館資料の管理(除却・除籍図書決定から再活用に向けての手续と運用)については、これまでの取組の中で計画的に実施する体制が整備されてきたが、組織再編の令和6年度においても引き続き計画的に整備していく。

さらに、今回の再編を機に、学びの基盤施設としての図書館の役割を改めて再確認するとともに、より魅力的な施設とするための課題の抽出を行っていく。

<情報>

ア. 情報基盤整備・セキュリティ本部について

- (ア) 情報セキュリティポリシーの見直しを実施し、情報基盤の運営体制を構築する。
- (イ) 情報演習室の更改を実施し、学生の教育 IT インフラを整備する。
- (ウ) 教務システム更改の支援を行う。
- (エ) 本学の業務運営のデジタル化を支援する。
- (オ) 事務職員のみが利用していたグループウェアの利用を教員に拡大し、課題やスケジュールの共有と効率化を図る。
- (カ) Microsoft365 等のアプリケーション利用促進による場所、時間を問わない資料等の共有化を図る。

イ. 総合情報研究センターについて

- (ア) 本学の情報・データ科学領域の教育・研究に関すること

ア)教務委員会と連携し、共通教養科目に導入されたデータサイエンス科目について、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」への申請を支援・完了させる。

イ)データサイエンス科目の教育内容を検証・検討し、次年度のシラバスに活かす。

ウ)研究のアウトプットを向上させる。

(イ)本学の情報処理施設・設備の利用者教育に関すること

ア)UOKINS(仮称)情報の整備と充実(KWUINSからの移行作業)および学内ユーザ向けの説明・授業改善・業務改善に役立つ know-how や tips についての情報提供・共有ページを作成していく。

(ウ)本学の情報基盤の整備及び情報セキュリティ等の推進に関すること

ア)情報基盤・セキュリティ本部のメンバーとして専門性を活かした貢献

イ)情報システムの更改に係わるワーキンググループ等への参画

ウ)情報課と連携し、セキュリティ研修の実施(年2回)(詳細を検討する必要あり)

(エ)地域共生学研究機構で得られた調査研究データの情報発信及び管理に関すること。

ア)機構の研究活動のために必要な情報ネットワーク環境についての検討に参画する。

イ)総合情報研究センターとして必要な情報ネットワーク環境構築について検討し、実現を目指す。

ウ)市町村との協働事業への参画(津野町との連携等)

(オ)他の情報システムとの連携に関すること。

ア)本学の情報ネットワーク利用に関するFAQを充実させる。(前掲(イ)ーア)参照)

<図書>

ア. 図書館運営本部について

(ア)図書館運営本部会議の開催

図書館運営本部会議を年間10回程度開催し、次の事項等について審議を行い、図書館の運営を行う。

ア)蔵書管理計画及び除籍計画

イ)教員推薦図書

ウ)図書館利用者アンケート

エ) 寄贈図書を選定

オ) 除籍済図書の取り扱い

カ) 高知県立大学後援会寄付金の活用方法

(イ) 図書館サービスの充実の検討

図書館サービスでの ICT 活用等を検討し、自己学習のための学習環境を充実させる。

ア) 電子ジャーナル利用の利便性向上、電子ブック等の拡充及びグループ学習室等の利用
推進を図る

イ) 電子ジャーナル:利便性向上を図る

ウ) 電子ブック:後援会寄附で拡充を図る

エ) グループ学習室:令和 4 年度に池図書館に設置したボックスタイプ学習室等の活用

オ) 図書館の魅力向上のための、課題の抽出および各種施策の検討と実施

(ウ) 高知工科大学との連携

高知工科大学と共同運営している永国寺図書館について、図書館運営連絡会議を開催し、その運営を協議する。

5. 関係規程・内規等

- 高知県立大学総合情報センター規程(次頁に掲載)
- 図書館委員会細則
- 情報処理施設委員会細則
- 高知県立大学総合情報センター図書館資料等利用細則
- 高知県立大学図書館文献複写要領
- 高知県立大学図書館資料管理細則
- 高知県立大学総合情報センター蔵書点検実施要領
- 高知県立大学学術情報リポジトリ運用指針
- 高知県立大学図書館の運営に要する経費に充当するための物品等(古本等)の寄附に係る取扱要領
- 高知県立大学図書館資料の除籍及び処分に関する要領
- 高知県立大学総合情報センター図書館所蔵の特別資料の取扱いについて
- 高知県立大学総合情報センター理念と目標及び蔵書構築方針
- 高知県立大学図書館における除籍資料等リユースセール実施要領

高知県立大学総合情報センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、高知県立大学法人高知県立大学組織規程（以下「組織規程」という。）第2条の規定に基づき、高知県立大学総合情報センター（以下「センター」という。）について、必要な事項を定める。

(センターの目的)

第2条 センターは、高知県立大学学則第60条に定める図書館及び情報処理施設の管理及び運営を行い、教職員及び学生の教育、研究の支援を行うとともに、地域社会における図書館活動の促進及び地域社会の情報システムとの連携等に取り組み、地域の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第3条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによる。

(1) 図書館

高知県立大学総合情報センター永国寺図書館・池図書館をいう。

(2) 情報処理施設等

高知県立大学法人情報システム運用基本規程(以下「基本規程」という。)第2条第1項第1号に定める情報システムのうち、基本規程第5条第1項の規定に基づき、センターが運用に関し統括的に管理するものをいう。

(所掌事項)

第4条 センターは、次の各号に掲げる事項を実施する。

- (1) センターの運営方針及び計画に関すること。
- (2) センターの予算及び決算に関すること。
- (3) 図書館の整備計画及び維持管理に関すること。
- (4) 図書館の図書館資料の収集、利用、管理及び調査等に関すること。

- (5) 情報処理施設等の整備計画及び維持管理に関すること。
- (6) 情報処理施設等の利用及び運用等に関すること。
- (7) 学術情報の電子化及び情報発信等に関すること。
- (8) 利用者教育に関すること。
- (9) 他の図書館等との連携に関すること。
- (10) 他の情報システムとの連携に関すること。
- (11) その他センターの運営に関し必要な事項
(組織)

第5条 センターは、次の各号に掲げる職員をもって構成する。

- (1) 高知県立大学総合情報センター長（以下「センター長」という。）
- (2) センター専任の教員
- (3) 第7条第1項の規定により設置する図書館委員会及び情報処理施設委員会の委員長
- (4) 図書情報部長
- (5) 図書情報部に所属する司書
- (6) その他センター長が必要と認めた者
(センター長)

第6条 センター長は、組織規程第5条に定める業務を行う。

(委員会)

第7条 センターには、次の各号に掲げる委員会を設置する。

- (1) 図書館委員会
- (2) 情報処理施設委員会

2 前項で定める委員会は、センター長の指示により、第4条第1項に定める所掌事項のうち、第3号から第11号までの審議を行い、センター長に報告するものとする。

3 この規程に定めるもののほか、委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(運営委員会)

第8条 センターの業務を総合的かつ計画的に推進するため、高知県立大学総合情報センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置き、必要に応じて運営委員会を開催して審議を行う。

2 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) センター長

(2) 前条で定める図書館委員会及び情報処理施設委員会の委員長及び副委員長

(3) 図書情報部長

3 運営委員会の委員長は、センター長をもって充てる。

4 運営委員会に委員の互選によって選出される副委員長1名を置く。

5 センター長は、会議を招集し、議長となる。

6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

7 運営委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、開くことができない。

8 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

9 委員長は、必要に応じ委員以外の者を運営委員会に出席させることができる。

10 運営委員会は、センターが行った活動内容を点検及び評価しなければならない。

(運営等の細則)

第9条 図書館及び情報処理施設等の運営等に関して重要な事項は、第7条に定める委員会及び前条に定める運営委員会の審議を経て、学長の承認を受けてセンター長が定める。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、図書情報部において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関して必要な事項は別に定める。

附 則

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、高知県立大学総合情報センター・高知短期大学総合情報センター運営委員会細則(平成 27 年 11 月 26 日施行)は廃止する。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

総合情報センター年報
令和5年度

2024年10月31日 発行

編集者 高知県立大学総合情報センター

発行者 高知県立大学総合情報センター

永国寺キャンパス

〒780-8515 高知市永国寺町 2-22

電話 088-821-7129

池キャンパス

〒781-8515 高知市池 2751-1

電話 088-847-8701

